



レインボーネット Rainbow Net

れいんぼーTopics

みんな良きパートナーです!



2018年4月に町内2ヶ所目の就労継続支援B型事業所として開所し丸4年が経過致しました。

利用者の方々がこの仕事ならやって行ける、続けられると感じて頂ける様にと施設内、施設外の作業内容を増やしたり見直したりと試行錯誤でやって参りました。開所当時、利用者の方が「事業所の雰囲気、人間関係、作業内容が丁度よく居心地のいい場所だ」と言ってくださったことを思う時、「丁度いい」という言葉の意味が色々な意味にも捉えられ深いと思ったことを思い出します。

これからも「丁度いい」感じで共に地域に根差して社会との架け橋となるように日々励んで参りたいと思います。
(ジョブ・パートナー山田 管理者 佐々 かほる)

目次 CONTENTS

●れいんぼーTopics	1	●Report!「福祉の現場から」	6~7
●年頭にあたって	2	●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!	8~9
●Close-up! 自立支援協議会	3~5	●なんでもKEIJIBAN、編集後記	10

笑顔で明日へ。

特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット

会長 刈屋裕之



礼申し上げます。

どうぞ今後とも、障がいを抱える方々、そのご家族の方々へのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

どうぞお願いします。

心ならずも障がいを抱えてしまった人たち、又そのご家族の皆さんに向けて、やさしい、そして笑顔の観客、支援者となってください。

どんな人たちも、今夜眠る前に『ふうっ』と安心の吐息ができますように。

朝、目覚めて『はああっ』と思いきり伸びをして立ち上がれますように。

そして明日、皆さんが、「しあわせ」に目覚めますように。

私どもレインボーネットでは毎年増え続ける相談、支援する一人ひとりに寄り添い、新型コロナウイルス感染症予防という困難な環境の中、職員一同笑顔を途切れさすことなく、関係各位、地域の皆様へ深いご理解と厚いご支援を頂きながら、日々の活動に努めてまいりました。

あらためまして、心より御

話は変わりますが、人生にはどんな人にも一つずつ大切なドラマがあります。そして、その一人ひとりがそのストーリーの主人公なのだと思います。そこに居合わせた私たちも一方では主役であるのです。一方では観客であり友人でもあります。彼・彼女たちの舞台に向き合うとき、



クローズアップ
CLOSE-UP!

自立支援協議会

今年の活動の成果について

実務担当者会議

菊地 天絵さん

(岩泉町民課地域福祉室)

本年度の実務担当者会議は、予定通り会議開催はしておりますが、各関係機関では一昨年から



実務担当者会議

ら続いている新型コロナウイルス感染症の対応に追われる年でした。このような状況でも、地域生活支援センター型の活動では、試行錯誤しながら活動を行い、利用者数も伸びており、地域で暮らす障がい者にとって望まれている活動であることを再認識しました。

また、4月から開始した地域生活支援拠点の緊急時の受け入れ対応の報告がありました。拠点が出来たことで、もしもの時の安心感は出来ました。何を緊急時の対応とするかの課題が生じています。これからの会議で、事例を通して拠点の緊急時の利用方法について協議を重ねていくこととなります。

今後も、地域で暮らす障がい者のサポート及び地域資源の掘り起こし等、障がいの有無に関わらず地域で活躍できる社会の実現を目指し、関係機関で協力して取り組んでいきたいと思っております。

権利擁護部会

坂本 心さん

(権利擁護センター ぱあとなあ岩手)

権利擁護部会は、法律専門職、障がい・高齢者福祉の専門職、医療機関、行政職など、様々な分野からのメンバーで構成されています。



権利擁護部会

今年度も当事者の「権利擁護」という視点を切り口に、障がい者や高齢者の分野を越えた事例検討や情報交換、普及啓発活動を行ってきました。

また今年度は、当部会で長年議論を重ねてきた「成年後見センター」が宮古市社会福祉協議会に設置されました。これにより、宮古圏域内における「成年後見制度」に関する取り組みが円滑になっていくことが予想され、さらには当部会がこれまで行ってきた、関係機関との連携や普及啓発活動などの機能が継承されていくものと期待しております。したがって今年度は、成年後見センターとの情報・意見交換を進め、当部会との連携の仕方、当部会の今後のあり方について議論を深めることができました。今後、成年後見センターの事業活動が活性化するように、権利擁護部会として協力、連携を進めていくことが望ましいと考えています。

生活支援部会

小林 和信さん

(宮古地区チャレンジ就業・生活支援センター)

今年度もコロナ禍において実施可能なもの、または感染状況に左右されないような形の企画を検討し取り組みました。地域懇談会では、岩泉、山田町で「懇談」という形式を取らず権利擁護部会と共催し、権利擁護寸劇DVDの映像をもとに専門職からの説明を頂き、よりわかりやすく権利擁護について学びました。(宮古市はR5年1月実施予定) 田野畑村では、るんび

にい美術館在籍の利用者である小林覚氏としゃかいのくすり研究所アートディレクター板垣崇志氏が行う講演会「出会い授業」をオンラインで受講しました。



生活支援部会

また、チャレンジフォーラムでは、「多様な働き方」気仙圏域の取り組み」から「宮古圏域のこれからと課題」をテーマに障害のある方と制度の狭間にいる方々の就労支援の現状と課題について企業の立場と支援者の立場で話し合い、これからの宮古圏域の新たな就労支援について、大きな一歩を踏み出せたのではないかと感じております。

精神保健部会

澤田 勝

(レインボーネット)

今年度はコロナ禍でありながら、フェーズも下がり予定通りの開催となった。地域移行に関しては、コロナの影響から、地域移行支援事業を利用した移行者の選定は1名にとどまり、その他3名は事業の利用はなかったものの、GH等に地域移行できこれも、医療と福祉の連携があったからこそその結果と思われる。

5月には、「クライシスプラン」について岩手県立大学社会福祉学部狩野俊介講師に講義していただいた。退院しても安定した地域生活に役立つためのツールとして活用できる環境を圏域内で作れば、もっと本人らしい生活の継続につながるものだと感じた。

10月には地域生活支援セミナーを開催し、山形県立保健医療大学安部寛明教授に地域移行にも関連する「にも包括」について講義していただいた。地域で支えていくために4つの鍵があ

ること、多層的な支援をすること等、地域の課題解決のための示唆に富む内容だった。引き続き、地域の課題について部会の機能を高めていきたいところである。



精神保健部会

発達支援部会

佐々木 悠さん

(山田町健康こども課)

発達支援部会では、「医療的ケア児等支援に関する協議の場」としての活動を行っています。今年度は、令和4年9月15日に岩手県医療的ケア児支援センターが開設されたことに伴い、医療的ケア児コーディネーターの大力聡美さんをお招きし、県内の医療的ケア児支援の動向や関係機関の役割について共有することができました。また、医療的ケア児の圏域内保育所入所事例を共有し、受け入れに向けた支援経過と課題について検討することができました。

宮古圏域発達支援セミナーは、加藤潔先生(社会福祉法人はるにれの里 自閉症者地域生活支援センター)なないろ所長)を講師にお招きし、オンラインで開催しました。「行動障害を支援する」をテーマに、不応行動における特性把握の大切さや具体的な対応について、実践につながる貴重なお話を多くの



発達支援部会

皆様に視聴いただきました。今後関係機関との連携を深め、地域の皆様が安心して生活できる体制づくりのために活動していきたいと思えます。



「福祉の現場から」



2022年5月に宮古市南町に開所した「ジョブシーズみやこ」は、就労継続支援のA型とB型あわせて定員20名の多機能型事業所です。利用者それぞれが持つ能力を生かせるよう一緒に仕事の「タネ」を見つけ、その「芽出し」をお手伝いしたいと「ジョブシーズみやこ」と命名しました。

Report1

ジョブシーズみやこ

開所です！

ジョブシーズみやこ 代表理事 野田尚紀

雇用型のA型事業所は、宮古圏域では10年ぶり2か所目とのことで、パソコンを使ったデータワークを主業務とし、なかでも特徴的なのは「Aーアノテーション」と呼ばれる画像処理です。「Aーアノテーション」とは、人工知能のための基礎データを作る作業で、例えば、イチゴの収穫適期の判別のために、赤いイチゴと白いイチゴを峻別して画像をくり抜いて、前者は「適」、後者は「不適」という判別情報を画像に付加する作業です。

そのほか、カーナビやIoT家電の音声ガイドで使用される音声合成の加工処理、伝票や図面をもとにデータを再入力し電子化する作業、いわゆる「ビッグデータ」と呼ばれる情報の収集など受託業務は多岐にわたります。

また、宮古圏域の神楽や鹿踊、剣舞や虎舞などを撮影したビデオ映像のデジタルアーカイブ事業を近く開始します。これは、過去30年以上にわたって、岩手県内の民俗芸能を動画で記録し続けている東北文化財映像研究所（北上市、阿部武司代表）の全面的な協力を得て、同研究所が所蔵するテープ素材の提供を受け、



こうした映像制作を通じて、地域文化の継承や活性化につながるキャリア形成となればと、期待を寄せています。

そのほか、これら就労継続支援事業とは別に、当法人の独自事業として「災害弱者の避難生活ケアを考える防災フォーラム in 宮古」を企画して9月に開催。障がいや病気などと向き合い、すべての人が活躍できる持続可能な社会を実現するための事業を展開しています。

より多くの皆さんがパソコンで視聴できるような「映像ライブラリー」を構築して、公開することを目指すものです。今後、利用者の能力が、



Report!

Report2

すまいるわーく 開所です!

すまいるわーく 代表・管理者 竹内伸一

このたび10月1日より、山田町に新たに就労継続支援B型事業所「すまいるわーく」定員15名を開所致しました。「すまいるわーく」という名称は、利用者の皆様が「笑顔で」「楽しく」「のびのびと」お仕事ができたらとの思いが込められております。

利用者様の能力にあった作業を提供し、働くことを通じて生きがいのある毎日を創り出すことを願っております。リラックスできる雰囲気です、少しでも

楽しく「すまいる」でお仕事していただけるように心がけております。今後も共には「他にはない事業所」を目指し、皆様の就労の一助になりたいと考えております。アットホームな事業所環境をモットーとし、利用者様もスタッフも、共にお仕事を楽しくめるよう心がけております。楽しい時も大変な時も皆様と一緒に歩んでいけるような事業所でありたいとスタッフ一同考えております。



すまいるわーくでは「農福連携」に取り組んでおります。利用者様が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持つて社会参画を実現していく取り組みです。農福連携に取り組むことで、利用者様の就労や生きがいづくりの場を生み出す



だけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながります。なによりも自然と触れ合いながらお

仕事をする中で気分転換にもなります。一緒に体験してみませんか？

見学者を随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

地域のみなさま、行政、各機関のみなさまにはこれまで以上のご支援ご協力をお願いすることとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

支援センターみやこです!

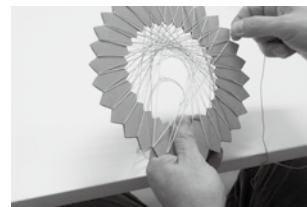
「地活みやこ」の活動をご紹介します



今 年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず活動を中止した時期もありました。それでも、作品作りやヨガ、市内の散策など様々な活動を企画し、多くのご参加を頂きました。今後も引き続き感染対策を講じながら、皆さんが安らげる楽しい居場所を提供してまいります。次年度もどうぞ、よろしくお願いたします。

◆幅広い活動を提供しています

地 域活動支援センターみやこでは、口頃より外部講師をお招きし、様々な活動を提供しています。今年度は、初めての活動である糸掛けやフットケア等にも挑戦しました。地域の方々のご協力のもと講師対応をしていただき、参加された皆さんに幅広い活動の機会を提供することができました。



糸掛け (表現活動)



足指体操 ("いやし"の部屋)

はあとふるギャラリー



ステンシルバッグ (トンボの会)



いちよう公園へ散策 (趣味サークル)



身だしなみ講座 (土曜の会)

参加者の感想

「身だしなみの基本は相手に嫌な気持ちにさせない事。難しいが、相手の気持ちを考えることに繋がると思った。」 (Kさん)

「書類を片手でなく両手で渡すことが勉強になった。スーツのお手入れをやってみたい。」 (Sさん)

◆土曜の会 活動実施しています

一般就労を目指す方々を対象に、スキルアップに繋がる学習の機会を提供しています。今年度は外部講師主体で、防災対策や金銭管理、「コミュニケーション」や法話、身だしなみなど、幅広い分野の学習に取り組みました。

新任職員紹介

11月からレインボーネットに勤務しております。

前職は保育士です。障がい者福祉について今まで知らなかったことも多く、日々学ばせていただいております。

地域活動支援センターでは、利用者の皆様との交流を通し、様々なことを感じ、パワーをいただいております。利用者の皆さんが安心して楽しく過ごせることができるよう、活動の場を工夫して作ってきたいと思っております。

笑顔でがんばります。どうぞよろしくお願いたします。



支援員 西 由以子



こんにちは、「地域活動

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象にピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

はあとふるフェスタ2022、開催しました!



今年度は「ともに生きる社会へ」をテーマに、令和4年11月11日～13日の3日間の日程で、はあとふるフェスタ2022を開催しました。障がい者アート移動展示会では幅広い層の方々に関心を寄せながら鑑賞していただきました。また、災害をテーマにした映画も上映し、障がい理解を更に深めていただく機会になったものと思います。皆様のご協力とご来場、誠にありがとうございました。



◆映画上映『星に語りて～Starry Sky～』

☆テーマは『東日本大震災』

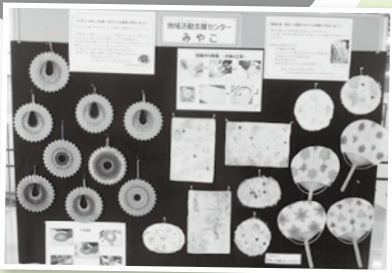
「一刻を争う人命救助」と「人権」の狭間で苦しむ支援員と、被災した障がい者の戦いが描かれています

- ① 11月12日(土) 13:00～15:00
- ② 11月13日(日) 10:30～12:30

◆『障がい者アート移動展示会』

- ☆るんびにい美術館所属アーティスト 小林覚氏の作品
- ☆宮古圏域内事業所の活動作品
- ☆地域活動支援センターみやこの活動作品
- ☆宮古圏域障がい当事者団体等ネットワークの紹介

地活センターみやこ 作品



小林覚氏 作品



来場者の様子



圏域内事業所 作品

3日間で200名以上の方々にご来場いただきました。皆様のご協力とご来場、誠にありがとうございました!



来場者の声 をご紹介します

◆映画上映

●映画が良かった。震災の時の思い出したら、もっとたくさんの人に観てほしい。有料でも良いと思う。

●「良かった。もったいない、もっと広く観てほしい。」

◆作品展示

●障がいのある方々の作品はカラフル、元気が出る。すごい才能だと思う。

●「凄いの一言です。コッコッ取り組んでいる様子が伝わり、頭が下がりました。」

●「小林さんの作品も全て好みます。すごいと思います。障がいがある方が描いているとは知りませんでした。」

●「もっと長い期間で展示しても良いと思います。作品がとても素晴らしい。もっと多くの方々に観てほしい。」



なんでも KEIJIBAN

令和4年度 地域懇談会

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

日時・会場

◇宮古市

日時：1月24日(火)午後1時半～3時

会場：イーストピア(2階 多目的ホール)

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

●内容：権利擁護に関する寸劇DVD上映です。単身生活を送っている知的障がいのある男性が、判断能力の低下により金銭トラブルや悪徳商法などに巻き込まれます。安心した生活をするべく様々な制度を利用していくという内容です。DVDの中では各制度の解説も行なっています。

※山田町・岩泉町・田野畑村につきましては開催終了しています。

備品貸し出しのご案内

寒い冬。コタツから出られず、つい「ゴロゴロ」してしまふ…。最近、運動らしいこともしていないな…そんなあなたに、皆が一緒に楽しむことが出来るスポーツはありますか？



レインボーネットでは、卓球パドル、ポッチャ、輪投げ、スカットボール、モルックのセットを貸し出しています。どのスポーツも老若男女、障が

令和4年度会費のご協力ありがとうございました!

■会員数の状況 (令和4年11月30日現在)

個人会員 73名 (正会員 64名・賛助会員 9名)
団体会員 34団体 (正会員 27団体・賛助会員 7団体)

○団体会員のご紹介 (令和4年11月30日現在・順不同)

団体名	
一般社団法人 フロムいわてソリューション	NPO法人 きぼうハウス
東北緑化 株式会社	フリースクール花鶏学苑
医療法人財団正清会 三陸病院	若竹会 あつとほうむ Life みやこ
翔友 みやこワーク・ステーション	山田町手をつなぐ親の会
岩泉町社会福祉協議会 いずみの里	宮古市身体障害者福祉会
宮古恵風支援学校	障がい者支援施設 望みの園はまなす
岩手県社会福祉事業団 救護施設松山荘	新里紫桐会 工房まんざく
みやこ手をつなぐ育成会	自立更生会 宮古アビリティセンター
社団医療法人新和会 宮古山口病院	宮古市末広町商店街振興組合
若竹会 SELPわかたけ	NPO法人 ハックの家
宮古市社会福祉協議会	若竹会 わかたけ学園
若竹会 自立生活支援センターウイリー	若竹会 ワークプラザみやこ
いわて高次脳機能障がい友の会 イーハートヴ沿岸地区	ワークハウスアトリエSun
	若竹会 地域生活支援拠点つむぎ
賛助会員	
株式会社 フロムいわて	イーハートヴとりもと
みやこボランティア連絡協議会	岩泉町身体障害者福祉協会
職業訓練法人 宮古職業訓練協会	あおば会 あおば工房
株式会社 川井産業振興公社	

会員募集中です! よろしくお願いたします。

お知らせ

記載しております各種セミナーは、新型コロナウイルスの感染状況に応じて延期もしくは中止となる場合がございます。あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。

いの有無に関係なく、皆が楽しめるスポーツです。どんなスポーツか分からないという方は、どうぞレインボーネットまでお問い合わせください! 福祉関係の団体の皆様のみならず、学校や子供会、地域の皆さんと…どうぞ楽しんでください! (皆さんのスポーツ用具なので、大切にしてください)

※ご利用していただくには事前の電話予約が必要となり、取りに来られる方に限ります。お問い合わせお待ちしております!



会員募集

NPO法人 レインボーネットの活動を応援して下さる方を募集しています。

個人	正会員 1,000円
	賛助会員 500円
団体	正会員 5,000円
	賛助会員 1,000円

●問い合わせ先 レインボーネット事務局
TEL 0193-764-7878
FAX 0193-776-3921

編集後記

機関紙の発行にあたり、原稿を各方面に依頼するのですが、どこも早く引き受けて頂けることに感謝しております。と同時に、すぐに提出して頂くことにはある種の驚きもありました。自分自身はというと、なかなか文字を起さずのが苦手なものでして、みなさま、今年もよろしくお願いたします。

【佐々木】

今年の冬は、節電が呼びかけられていますが寒さが苦手なワタシ、自宅では「着る毛布」を愛用しております。フッドが付いてすっぽり被るタイプの物。肌ざわりが心地よくフワフワなのです。着ると暖かくて幸せな気持ちになります。少し動きづらいのが難点ですが、今年の冬はコレで乗り切れます!

【大内】

今年の冬も白鳥の姿を見られるようになりました。「遠くの国からはるばる宮古にようこそ!」という思いで見えています。大きくて白くて、ひとときまじり立つ白鳥。飛んでいる姿も美しいです。寒い冬ではありますが、白鳥に出会えるこの季節を楽しみたいなと思っています。

【楢井】

今年はずいぶんです。可愛いうさぎのグッズや写真イラストなどが町中に溢れています。見るたびに気持ちが癒されます。買わないのに、見るだけでも思い足を止めてしまふ私です。(笑)

【田】

◆発行 NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)
岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号
はあとふるセンターみやこコア
TEL 0193-64-7878
FAX 0193-64-7878
TEL 0193-77-3091
Email info@nyako-rainbow.com
Url http://www.nyako-rainbow.com/

◆発行責任者 会長 刈屋裕之
◆企画・編集 レインボーネット事務局